

いきいき生っ子

平戸市立生月小学校

学校だより

令和4年

8月9日 文責：平松紀子



◆あれから77年…、平和集会での祈り

新しき平和の 光さしそむる 荒野にひびけ 長崎の鐘
原子雲の 下に生きたる 子供らが 平和をとさげぶ 声をこそ聞け
永井 隆 博士



毎年、8月9日には、平和集会が開かれます。そして、11時2分になると、全員で黙祷します。「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ウォー、ノーモア・ヒバクシャ」長崎の被爆者・山口仙二さんが、国連での演説を締めくくった言葉のように、私たちは、平和を願いもう二度と戦争が起こらないように願います。

ところで、8月9日が登校日になっているのは長崎県独自のものです。なぜなのか。それは、原子爆弾が長崎と広島に世界で唯一落とされ、原子爆弾の恐ろしさを知っているからです。私たちは戦争を知りませんが、原子爆弾が使われたらどうなるかを、原子爆弾によって苦しむ人たちがまだ

いることを伝えていかなければならないからです。私たちは、決して忘れてはなりません。だから、戦争や平和について過去から学び、考え、平和集会を行います。子供たちの、長崎県民の平和を願う気持ちが、長崎の鐘のようにどこまでも、どここの国の人の心にも響き渡りますように。

今日は「県民祈りの日」です。ご家庭でも、例えば「大切な人の命が奪われる戦争はいやだね。」などと戦争と平和を話題にしていただければと思います。



平和集会では、古川玲子さんをお招きして、戦争のこと、原子爆弾のことなどをお話していただきました。古川さんの口から語られる話は、心にぐっと迫るものがあり、子供たちは真剣に聞き入っていました。そして“戦争は怖くて悲しいことだ”“原子爆弾をもう落としてほしくない”“けんかをしないようにしよう”“みんなに優しくしよう”などの様々な考えをもつことができました。私たちは、これからも自分にできることから平和な未来を創っていく子供たちを育てたいと思います。



6年生が、戦争と平和について調べたこと、考えたことをまとめて、校長室前に掲示しています。今現在もロシア軍とウクライナ軍が戦闘を続けていることを取り上げている子供たちもいます。

また、10月には修学旅行で長崎原爆資料館を訪れます。戦争と平和についてしっかりと学び、後輩やお家の方々にも自分の考えを伝えることができる学習にさせたいと思います。



◆水を大切にしよう！生月小は「特別学校賞」に

第64回水道週間平戸市作品コンクールの表彰式が8月2日（火）に文化センターでありました。生月小学校は、今年度の「学校特別賞」に選ばれました。長年にわたり数多くの作品を出品し、この事業に大きく貢献したということです。そして、放送で使うためのCDラジカセや一輪車を学校に持ってきてくださいました。大事に使わせていただきます。

この活動を通して、子供たちは、水の大切さや節水について考えることができたと思います。今、生月は水が足りないということが言われているようですが、子供たちは節水実践をご家庭でもできているのでしょうか？！



標語（高学年の部）

優秀賞

6年

「大切に みんなで使おう 水道水」

◆気をつけましょう

○今、テレビでよく耳にする話題が、ため池での水難事故です。ため池に落ちると大人でもほぼ上がることができないということでした。

生月町にはたくさんのため池があります。ため池ではつりをしないようになっていますが、十分に気をつけてください。

○安全に生活するために

・新型コロナウイルスの勢いがまだまだ収まりません。今後も

① マスクをつける（上手に活用する）

② 三密を避ける

③ 手指消毒をする

④ 喚起をしっかりする

検温なども行い、気をつけましょう。

・健康な身体を作るためには、**食事・睡眠・運動**に気をつけることが大切です。

・まだまだ暑い日が続きます。水分をしっかりと取って熱中症にもならないようにしましょう。

